

将来の成東駅東口駅前広場のイメージ



問 成東駅南側駅前広場の進捗状況はどうか。
答 市長 平成27年5月末の時点で、面積に換算すると97%が取得済みです。市道和田東町線は駅から200mの区間の整備を行い、県事業の成東駅南口線については、

都市基盤の整備について



市川 陽子
 議員

議員

国道126号から旧道までの区間の権利者を中心に用地交渉を進めています。

問 駅の入口近くに、障害者の乗降用の表示や専用トイレ設置の案内標識、障害者用駐車場マークが入った標識等を設置してはどうか。
答 都市整備課長 マーク入りの標識については、バリアフリー優先の乗降場所などに示したと考えています。

問 送迎用の車の待機所はどうか。
答 都市整備課長 駅の反対側に3台分の停車スペースと駅近くの市有地に車両待避所を整備し、10台分程度を確保したいと考えています。

問 都市整備課長 駅周辺の、魅力を発信していくための計画等はあるか。
答 都市整備課長 今年度中に成東駅南側周辺まちづくり協議会から提言を頂く予定です。

福祉施策について

問 地域別の子ども割合はどうか。
答 保健福祉部長 別表のとおりです。

[別表] 山武市 地域別子ども的人数及び割合

地区	人数	割合
成東地区	2,493人	43.4%
山武地区	1,748人	30.4%
松尾地区	1,045人	18.2%
蓮沼地区	460人	8.0%
合計	5,746人	100.0%

問 遊具の設置状況はどうか。また、設置するにあたり規定があるのか。
答 都市整備課長 平成24年度から老朽化が確認された遊具は全て撤去し、新たに区自治会の要望のあった40公園、73基の遊具を計画的に整備しています。今年度が最終で3基を整備予定です。また、設置規定はありません。

問 公園のない地域では、車が通る路上で遊ぶなど危険な環境がある。今後遊具について要望があれば設置を検討していくのか。
答 都市整備課長 公園に適した遊具であるか、また、遊具設置後、児童が安全に使用できる管理状況になるのか等を検討し、判断したいと考えています。

問 子供の年齢別、テーマ別に、利用者の目的ごとに検索でき、より早く簡単にたどり着けるように、船橋市は検索サイトの柱に子育てガイド、子育てマップ、イベント情報の3つを設定し、子育て情報をわかりやすく提供している。子育て情報の一元化はどうか。
答 保健福祉部長 現ホームページシステムで検索しやすく、簡単に目的情報にたどり着ける

問 生活困窮者自立支援制度が4月から始まる。自治体に義務づけられた必須事業と任意事業とあるが、対応はどうか。
答 保健福祉部長 自立支援事業を社会福祉協議会に委託し、社会福祉課内に生活・就労相談室を開設し、常時2名の職員が相談に当たっています。

2020年オリ・パラリンピックに向けて

問 平成26年5月に戦略推進本部が発足されたが、進捗状況はどうか。
答 経済環境部長 成田空港から航路に位置する本市は、海外の人が空から最初に目にする風景です。田んぼアートでのおもてなしとして、被災地の本市が、お世話になった方々へ鶴の恩返しをテーマに行います。7月18日には鑑賞会を開催します。また、10月に収穫祭の開催を計画しています。

問 文部科学省では、小・中学校指導要領に障害者への思いやりやフェアプレーの大切さ、努力の尊さを学ぶパラリンピック教育を盛り込む方針のようだが、市の取り組みはどうか。
答 保健福祉部長 自立支援事業を社会福祉協議会に委託し、社会福祉課内に生活・就労相談室を開設し、常時2名の職員が相談に当たっています。

問 文部科学省では、小・中学校指導要領に障害者への思いやりやフェアプレーの大切さ、努力の尊さを学ぶパラリンピック教育を盛り込む方針のようだが、市の取り組みはどうか。
答 市長 障害者を持った子どもたちと共にやっつけていこうという気持ちの醸成など、全て最大のチャンスと捉えて、積極的に取り組みたいと思います。

問 文部科学省では、小・中学校指導要領に障害者への思いやりやフェアプレーの大切さ、努力の尊さを学ぶパラリンピック教育を盛り込む方針のようだが、市の取り組みはどうか。
答 市長 障害者を持った子どもたちと共にやっつけていこうという気持ちの醸成など、全て最大のチャンスと捉えて、積極的に取り組みたいと思います。

目的情報にたどり着ける

問 文部科学省では、小・中学校指導要領に障害者への思いやりやフェアプレーの大切さ、努力の尊さを学ぶパラリンピック教育を盛り込む方針のようだが、市の取り組みはどうか。
答 市長 障害者を持った子どもたちと共にやっつけていこうという気持ちの醸成など、全て最大のチャンスと捉えて、積極的に取り組みたいと思います。

問 文部科学省では、小・中学校指導要領に障害者への思いやりやフェアプレーの大切さ、努力の尊さを学ぶパラリンピック教育を盛り込む方針のようだが、市の取り組みはどうか。
答 市長 障害者を持った子どもたちと共にやっつけていこうという気持ちの醸成など、全て最大のチャンスと捉えて、積極的に取り組みたいと思います。